

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第7回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第7回実証試験では、島根県江津市から提供されたニーズ「道路横断溝の蓋の補修技術」に対して、民間企業（日之出水道機器(株)）が製品の紹介を行った後に、現地において試験施工を行いました。
- 実証試験を受け、江津市からは、設置環境、利用交通の実態等を踏まえ、適材適所で採用を検討していきたい旨のコメントを頂きました。

■日 時：令和5年11月24日（金）14:00～16:00 ■場 所：市道都野津敬川中央線（島根県江津市都野津町地先）

■参加者：21名【施設管理者 江津市：4名/ 民間企業（日之出水道機器(株)）：7名/
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：6名/ 中国地方整備局：2名】その他、施工者（原工務所）

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議
フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学名誉教授)

○ニーズ提供者挨拶



江津市 土木建設課
係長 平松 健一

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 桑嶋 弘志

○製品の説明、現地での試験施工

＜製品、技術の説明＞
日之出水道機器(株)
製品名「**铸铁横断側溝用グレーチング GR-U**」



＜現地での施工＞



既設側溝の側壁上部取壊し、アンカー設置、
型枠設置、GR-U据付け完了

＜実証試験箇所の施工前後の状況＞



施工前（鋼製グレーチング蓋）



施工後（铸铁横断側溝用グレーチング GR-U）

無収縮モルタル（ラウンドベース）の打設



施設管理者が抱える
維持管理の課題収集

↓

ピッチイベント
(課題を解決する技術の提案会)
第7回：R5.1.31

↓

実用化を検証する
実証試験
第7回：R5.11.24

↓

マッチング
(社会実装)



▲質疑応答の様子